Manus 2.0 と GPT・Claude・Gemini の違い

― 発表内容の検証と比較分析 ―

2026 年 10 月 7 日（2026 年 10 月 6〜7 日時点の公開情報に基づく）

Claude Opus 5.5

本書の表記について

- 文中の上付き番号［n］は、文末「参考文献」の番号に対応する。
- 確認済みの事実と分析・推論を区別し、分析・推論にあたる記述は見出しまたは文中に【分析】と明記した。
- 参考文献の末尾には確認区分を付した。【本文確認】は調査時に本文を取得して確認したもの、【検索結果で確認】は検索結果の抜粋で内容を確認したもの（本文全体は未読）、【URL 未取得】は調査過程で参照したが URL を特定・再確認できていないものである。

結論

Manus 2.0 は 2026 年 9 月 28 日（米国時間）に実際に発表された[1]。ただし、自社で基盤モデルを開発していない「エージェント製品（アプリケーション層）」であり[1,2]、基盤モデルと自社エージェント製品を一体で提供する GPT（OpenAI）・Claude（Anthropic）・Gemini（Google）とは、製品のカテゴリが異なる。

【分析】最大の違いは、Manus が「どのモデルの上でも動くハーネス＋クラウド実行環境＋制作スタジオ」を売っている点にある。一方、OpenAI・Anthropic・Google は同じ 2026 年 9 月に、Manus の売りであった「クラウド上の PC で常時動くエージェント」を自社モデルと一体で投入しており[3–5]、Manus の差別化の余地は狭まっている。

要点

- **前提の確認：**発表日は正確である（米国時間 9 月 28 日、日本時間 9 月 29 日）[1,6]。ただし発表時点の Manus は「Meta 傘下」ではない。中国当局が 2026 年 4 月に Meta による買収の撤回を命じ[7]、Manus は 9 月 1 日に独立運営の再開を表明した[8,9]。2.0 の性能値は Manus が社内で測った 1 構成の数値のみで、GAIA・OSWorld・SWE-bench 等の公開ベンチマーク結果は公表されていない[1,2]。
- **本質的な違い：**Manus は 2.0 の基盤モデルを公表していない（過去に Claude と Qwen の利用を表明）[1,10]。新機能「Manus Flex」で OpenRouter 等の外部モデルを持ち込めるようにし、モデル非依存のエージェント基盤へ舵を切った[11]。GPT-6 系、Claude Fable 5.1／Opus 5.5、Gemini 3.5 は、モデル性能そのものを第三者ベンチマークで競う立場にある[12–14]。Manus 2.0 の強みは、動画・ゲームの編集スタジオ、イベント駆動の自動化、購入できる Cloud Computer、そして電話番号・メール・ウォレットを持つ個人エージェント「Cue」である[1,15]。

- **実務上の推奨【分析】**：知財・研究開発で未公開の発明情報や秘密情報を扱う作業は、企業契約とデータ統制が整った Claude／ChatGPT／Gemini の法人プランを主軸とする。Manus は公開情報の広域リサーチと資料・スライドの初稿作成に限定して使うのが妥当である。資本関係・規制・データ継続性に不確実性が残るため、単独の基幹ツールとするのは時期尚早と考える。

1. 前提の確認（確認済みの事実）

1.1 発表日と名称

- Manus 公式ブログ「Introducing Manus 2.0」は 2026 年 9 月 28 日（月）付である。冒頭で「Manus 2.0 is not a version update」と述べ、新しいアーキテクチャ・新製品・新機能の投入であると位置づけている[1]。
- 日本語メディア（窓の杜、Impress Watch）と Bloomberg 日本語版は、日本時間 9 月 29 日に報じた[6,16,17]。
- 名称は「Manus 2.0」で正しい。ただしその性格は「モデル」ではなく、エージェント基盤（ハーネス）と製品群の刷新である。Bloomberg は「Manus 2.0 model」と表現したが[18]、公式ブログは自社開発のエージェントハーネスとして説明している[1]。
- 同時に個人エージェント用の別アプリ「Cue」が発表され[1,15]、翌 9 月 29 日には外部 API キーを持ち込める「Manus Flex」が発表された[11]。

1.2 運営主体と資本関係の経緯

開発元は Butterfly Effect Pte. Ltd.（シンガポール）である。2022 年に中国で創業し、2025 年に本社機能と中核人員をシンガポールへ移した[7,19]。創業者・CEO は Xiao Hong（肖弘）氏で[7]、同チームは以前にブラウザ拡張 AI「Monica」を手がけている[19,20]。資本関係をめぐる経緯を表 1 に示す。

表 1　Manus の資本関係をめぐる経緯

時期	出来事
2025 年 12 月 29〜30 日	Meta が買収を発表。金額は非公表だが、WSJ は 20 億ドル超と報道[20,21]
2026 年 1 月	中国商務部が取引の調査を表明[22]。AI CERTs News は、当局が最初に問題視したのを 1 月 8 日としている[23]
2026 年 3 月	共同創業者の Xiao Hong 氏と Ji Yichao 氏が北京に呼び出され、出国を禁じられたと報道[24,25]
2026 年 4 月 27 日	国家発展改革委員会（NDRC）が、Manus プロジェクトへの外国投資を禁止し、当事者に買収取引の撤回を求める決定を公表[7,22]。法律事務所 Shumaker は、完了済みの越境 AI 取引を外商投資安全審査（FISR）で覆した「first publicly confirmed use」と評価[25]
2026 年 5〜6 月	5 月に業務分離とデータ共有の停止が完了したと報道[26,27]。6 月 15 日、Meta は中国規制当局による阻止を理由に、Manus との関係解消を公式に発表[19]

時期	出来事
2026 年 8 月 11 日	Manus が「A Note to Our Users」を公表。特定法域の規制要件への対応として、一部ユーザーが 2025 年 12 月 29 日以降に生成したデータを 8 月 23〜24 日（シンガポール時間）に削除すると告知。事前バックアップと 8 月 25 日以降の復元が可能とした[28–32]
2026 年 9 月 1 日	Manus が独立運営の正式再開を表明。創業チームが「independent agent lab」として経営を継続[8,9,33]

9 月 1 日の発表自体には、所有権がどう整理されたかの説明がない[9,34]。報道ベースでは、創業者と既存投資家が Meta の持分を 20 億ドルの評価額で買い戻したとされ[26,27]、Tencent が最大株主となる方向で協議中とも報じられている[27,35]。また、TechCrunch（9 月 18 日）は約 5 億ドル・評価額 40 億ドルの資金調達交渉を報じ、投資候補に IDG Capital、Boyu Capital、CATL を挙げた[26,36]。いずれも会社の公式発表ではなく、未確定である。

したがって、2.0 の発表時点で Manus は「Meta 傘下」ではない。窓の杜の記事は「米 Meta 傘下の Manus」と記載しているが[6]、上記の事実関係と食い違っている。

2. Manus 2.0 の発表内容（確認済みの事実）

公式ブログ[1]と主要報道[2,6,15]に基づき、発表内容を表 2 に整理する。

表 2　Manus 2.0 の構成要素

要素	内容
Cascade	自社エージェントハーネスの最新版。案件を軽量に開始し、必要なときだけ専門機能を呼び出す。Manus によれば、1 つのテスト構成で従来システム比トークン 23.2%減、所要時間 28.2%減、実行コスト 32%減[1]。Implicator.ai は「It did not describe the test, and the figures are unverified」と指摘[2]
Cloud Computer	有償で購入する専用の常時稼働環境。マルチプレイヤーゲームのサーバーや常駐自動化の置き場として利用[1,15]
Automations	定時実行に加え、新着メール、広告成果の変化、カレンダー、Slack、Notion の更新などをきっかけにタスクを起動[1,15]
Manus Studio	デスクトップアプリを刷新。文書・表計算・PDF・スライド・Web・コード・ゲーム・動画を一つの作業空間で扱う[1,6]
Video Editor／Alchemy mode	AI の生成物をタイムライン上の部品として人が直接編集できる。30〜60 秒の製品広告などが対象[1,15]
Game Dev	動画・画像・コーディングの各モデルを組み合わせる。Cloud Computer を使えば数クリックでマルチプレイヤー化できる[1]
Remote Control／Computer Use	スマホから手元の PC 操作を指示。承認されたファイル・ブラウザ・アプリのみを使い、画面をライブで確認できる[1,15]
Cue	個人エージェント用の単体アプリ。各エージェントが専用のメール・電話番号・ウォレット・コンピュータを持つ。グループチャットで複数エージェントが分担し、飲食店の QR コードからの注文や順番取りも可能。早期アクセス（招待コード制、無料）で、iOS 版は審査待ち[2,15]
提供形態	Web、デスクトップ（macOS／Windows）、モバイル[1,6]

2.1 基盤モデル（確認状況）

- 公式ブログは、2.0 で使う基盤モデルを明示していない[1]。ヘルプセンターで確認できるのは「Manus 2.0 Max／2.0／2.0 Lite」という階層名だけである。無料ユーザーは Agent Mode で Lite のみ、Pro ユーザーは 3 つすべてを利用できる[37]。
- 過去の表明として、2025 年 3 月に共同創業者の Ji Yichao（季逸超）氏が「Claude 3.5 Sonnet v1 と、ファインチューニングした複数の Qwen モデル」を使っていると説明した[10]。Implicator.ai（2026 年 9 月 28 日）は、Manus が 2025 年 12 月に「Claude と Alibaba の Qwen を基盤とし、独自の基盤モデルはゼロから訓練していない」と述べたと報じている[2]。ただし、この 12 月の一次発言は確認できていない。
- Manus Flex の公式ブログで、Manus は創業以来、モデル選定・ハーネス・エージェント基盤をまとめて担う「マネージド型」の製品を作ってきたと自ら説明した。今後は外部の推論プロバイダ（初期パートナーは OpenRouter、Fireworks、Modal）にも開放する。推論費用はプロバイダが直接請求し、それ以外のインフラ利用は Manus クレジットを消費する[11]。
- Bloomberg（9 月 28 日）と Global Times（9 月 29 日、Manus の WeChat 投稿を引用）によると、Manus は中国市場向けの製品チームを組織中で、中国国内の大規模モデル開発企業とも協議している。2.0 は海外ユーザー向けの提供である[18,38]。

2.2 ベンチマーク

- 2.0 について、GAIA・OSWorld・BrowseComp・SWE-bench の結果は公表されていない。示された性能値は Cascade の社内比較（1 構成）だけで、独立した検証はない[1,2,39]。公式ブログ自体も 1 つのテスト構成での結果と明記しており[1]、第一財経も総合平均ではない旨を報じている[40]。
- 2025 年 3 月の初代発表で示した GAIA の各レベルのスコア（86.5%／70.1%／57.7%）も自社発表であり、当時から第三者による再現は限られていた[41,42]。

2.3 料金・法人向け機能

- 2.0 の発表と同時の新料金はない。公開情報の集計（2026 年 7〜9 月時点）では、Free（1 日 300 クレジット）、Pro 月 20 ドル（4,000 クレジット）／40 ドル（8,000）／200 ドル（40,000）、Team 1 席月 20 ドル（2 席から）で、Cloud Computer は別途購入である[43–46]。公式料金ページは未取得である。
- 投資界（pedaily）によると、2.0 公開時に無料ユーザーへ 1,500 クレジットが配布された[47]。
- Team プランのページは、SOC 2 Type II、ISO 27001 への準拠と、Team／Enterprise のデータをモデル提供者が学習に使うことを禁じていると記載している[48]。ただし、Trust Center（Vanta でホスト）の詳細（サブプロセッサ、データ所在地）は取得できておらず、未検証である。

3. GPT・Claude・Gemini との比較

3.1 カテゴリの違い（最重要）

- **Manus：**アプリケーション層である。自社ハーネス（Cascade）、クラウド実行環境、制作スタジオ、個人エージェントアプリから成り、基盤モデルは外部調達（非公表）である[1]。Flex により「モデルは利用者が選ぶ」方向へ進んだ[11]。
- **OpenAI／Anthropic／Google：**基盤モデルの開発元であり、その上に自社のエージェント製品を垂直統合で提供している。【分析】モデルの改良がそのままエージェント性能に反映され、API・クラウド（Azure、AWS Bedrock、Google Cloud）経由の企業向け展開も持つ。

3.2 比較対象の現況（2026 年 9 月時点）

（1）OpenAI

GPT-6 Astra（9 月 3 日）、GPT-6 Sol／Luna（9 月 22 日）、GPT-6.1 Sol（9 月 29 日）を、ChatGPT Work と Codex で提供している[12,49–51]。9 月 29 日の DevDay では常時稼働エージェント「Dots」を発表した。Dots は専用のクラウド PC とブラウザを持ち、プラグイン経由で 4,000 超のアプリに接続でき、Slack や Teams からも利用できる[3,52–54]。対象は Pro／Business Premium で、Pro での提供は欧州経済領域（EEA）・スイス・英国を除く。月額 500 ドルの「Pro 500」も新設された[51,55,56]。なお、旧来の「ChatGPT agent」（2025 年 7 月）の機能は、2026 年 7 月開始の ChatGPT Work に引き継がれている[49]。

（2）Anthropic

Claude Fable 5.1（9 月 1 日、100 万トークンあたり入力 10 ドル／出力 50 ドル）は、自社発表で Terminal-Bench 4.0 が 55.8%、OSWorld 2.0 が 77.9%（部分）／41.7%（厳格）である[13,57,58]。Claude Opus 5.5（9 月 22 日）は、大半のタスクで Fable 5.1 並みの性能を Opus 5 より 40%安く提供するとされ、Claude Code・Claude アプリ・Cowork の既定モデルになった[59,60]。Sonnet 5.5 は 9 月 28 日に公開された[61]。Claude Cowork（2026 年 1 月開始）は 9 月 16 日に Claude アプリへ統合され、Docs／Slides／Design がベータで加わった。Web・モバイル対応、リモートセッション、スケジュールタスク、メモリ、SCIM による権限管理も備える[5,59,62,63]。

（3）Google

Gemini 3.5 Flash（5 月 19 日に一般提供開始）と、個人エージェント「Gemini Spark」（24 時間稼働、Google Cloud の VM 上で動作、Gmail／Docs／Sheets／Chrome と連携、米国の AI Ultra 向けベータ）を提供している[4,14,64,65]。上位の Gemini 3.5 Pro は、9 月 20 日時点で一般提供されていない。Bloomberg は数か月の遅延と報じた。SemiAnalysis の「中止」報道は、Google が否定も確認もしておらず未確認である[66,67]。開発者向けには Antigravity 2.0 がある[68]。

3.3　比較表

表 3　Manus 2.0 と大手 3 社のエージェント製品の比較

比較軸	Manus 2.0	OpenAI（ChatGPT Work／Codex／Dots）	Anthropic（Claude／Cowork／Claude Code）	Google（Gemini／Spark／Antigravity）
位置づけ	エージェント製品（モデル非公表、Flex で外部モデル可）	自社モデル＋自社エージェント	自社モデル＋自社エージェント	自社モデル＋自社エージェント
実行環境	クラウド VM、購入式 Cloud Computer、手元 PC の遠隔操作	Dots 専用クラウド PC、Codex のクラウド／ローカル、許可制の PC 操作	Cowork のリモートセッション（ベータ）／デスクトップのサンドボックス。Claude Code はローカル中心	Spark は Google Cloud の VM、Antigravity はローカルの開発環境
常時稼働・自動化	イベント駆動の Automations（メール、Slack、Notion 等）	Dots が常時稼働。接続アプリは読み取り専用で先回り調査	スケジュールタスク	Spark が 24 時間稼働
マルチエージェント	Cue のグループチャットで分担、Wide Research	「チームとしての Dots」は将来構想	Cowork がサブエージェントを並列起動	Antigravity でエージェントを並列実行
成果物生成	文書・スライド・Web・ゲーム・動画を同一スタジオで直接編集（最大の差別化）	Pages、ChatGPT Space	Docs／Slides／Design（ベータ）	Workspace 連携
外部連携	Slack、Notion、メール、カレンダー、MCP、コネクタ	4,000 超のアプリ（プラグイン）、Slack、Teams	MCP、プラグイン、コネクタ、Chrome	Google サービスとの深い統合
個人エージェントの「身元」	専用のメール・電話番号・ウォレット（Cue）	現時点で同等の発表なし	現時点で同等の発表なし	現時点で同等の発表なし
公開ベンチマーク	2.0 では未公表（社内の効率比較のみ）	GPT-6 系で各種公表	Fable 5.1／Opus 5.5 で各種公表	3.5 Flash で公表
料金	クレジット制（月 20〜200 ドル、Team 1 席 20 ドル）。消費量が予測しにくい	Plus〜Pro（Dots は Pro 月 100 ドルに 1 体）、Pro 500 は月 500 ドル	Pro／Max／Team／Enterprise、API は従量課金	AI Pro／Ultra、Enterprise
企業向け・統制	SOC 2 Type II／ISO 27001 を掲示、SSO、Team 以上は学習不使用	Enterprise、Microsoft Agent 365 との連携を予定	SCIM グループ、ロール、支出上限	Gemini Enterprise、CMEK、VPC-SC、データ所在地の指定
地域・規制リスク	中国発祥、Meta 買収の撤回、地域限定のデータ削除の前例、中国向け事業の準備	米国企業。Dots の Pro は欧州・英国対象外	米国企業	米国企業

出典：Manus 列は[1,11,15,43,48]、OpenAI 列は[3,52,55]、Anthropic 列は[5,13,59]、Google 列は[4,14,68]に基づく。比較軸の設定と各欄の要約には筆者の分析を含む。

3.4 違いの要点【分析】

1. **モデルで勝負しない戦略：**Manus は性能の上限を外部モデルに依存している。Flex はその弱みを逆手に取った打ち手で、「最良のモデルを持ち込めば最良のハーネスで動く」と訴えるものである[11]。ただし、モデル開発元がハーネスまで含めて最適化してくる以上（Opus 5.5 が既定の Cowork[60]、自社モデルと一体の Dots[3]）、汎用タスクで Manus が恒常的に優位を保てる根拠は、今のところ示されていない。
2. **差別化は「最初の結果の後」：**公式ブログ自体が、最初の生成結果が出た後の工程を重視していると強調している[1]。生成物を部品レベルで人が直し、続きを AI に任せる編集体験（動画のタイムライン、ゲームの個別オブジェクト編集）が独自色であり、強みは調査・分析よりも制作系の用途に寄っている。
3. **常時稼働エージェントの同質化：**9 月の 1 か月で、OpenAI（Dots）[52]、Google（Spark）[4]、Anthropic（Cowork のリモート化と統合）[5]がそろって「クラウド PC 上で持続的に動くエージェント」を出した。2025 年に Manus が先行していた領域は、すでに大手の標準機能になりつつある[47,69]。
4. **Cue の「身元付与」は新規性と同時にリスク：**電話番号・メール・決済手段をエージェントに与える設計は、大手 3 社の現行製品にない踏み込みである[70,71]。一方で、誤送信・誤決済・なりすましなどの責任分界は、まだ公開検証されていない[72]。

4. 評価・評判

4.1 肯定的な評価

- 窓の杜・Impress Watch・GIGAZINE などの日本の主要メディアは、新機能を概ね好意的に報じた[6,16,73]。
- 中国の投資界（pedaily）は、試用の結果「依然として効率的なエージェントツール」であり、PPT 作成や画像生成など多様な場面に対応できると評価した[47]。
- 既存ユーザーのレビュー（2026 年）では、深いリサーチ、スライド、Web サイト作成など「一回きりの成果物」に強いとの評価が多い[74]。

4.2 批判・懸念

- **独立検証の欠如：**2.0 の効率値は Manus のブログだけが出典で、独立したハーネス評価はない[39]。remio は「真の試金石は信頼」と評し、Cue は早期アクセスのため、多様なユーザーや実取引での広範な検証はまだだと指摘した[72]。
- **クレジットと信頼性：**「タスクが失敗・ループしてもクレジットが消費される」「長いタスクで信頼性がばらつく」という苦情が繰り返し出ている[74]。Trustpilot の manus.im ページの集計評価は 1.2/5（166 件）で、請求・返金・サポートへの不満が中心である[75]。App Store には「証拠がほとんどないまま自信満々に完了を宣言する」というレビューもある[74]。

- **分離後の品質への懸念：**Reddit には「Meta からの分離後に性能が落ちた」という投稿がある。ただし逸話レベルで、検証はされていない[76]。
- **競争環境：**投資界は「Agent の戦場はすでにライバルで埋まっている」として、OpenAI、Microsoft、テンセント、アリババ、バイトダンスとの競争と、商業化の不確実性を指摘した[47]。

5. 知財・研究開発実務での使い分け【分析】

以下はすべて筆者の分析・推論である。

表 4　知財・研究開発業務における推奨ツール

業務	推奨	理由
未公開の発明・出願前の技術情報を扱う検討（明細書の下書き、発明の発掘、クレーム案）	Claude／ChatGPT／Gemini の法人プラン（Enterprise 等）	データ保持・学習不使用・管理機能を契約で担保しやすい。Manus は 2.0 の基盤モデル（＝データの送り先となるサブプロセッサ）が非公表で、2026 年 8 月に地域限定のデータ削除を実施した前例がある[28]
公開情報の技術動向調査・競合調査（広域の並列収集）	Manus（Wide Research、Automations）を候補に	多数の Web ソースを並列で集め、表・スライドに整える用途は従来からの強み。ただし出典と数値は必ず原典で照合する
特許文献の精読・クレーム対比・無効資料の評価	Claude（長文の精読と推論）または GPT-6 系	推論品質が成果を左右する。Manus はどのモデルの上で動くか不透明なため、品質の再現性を担保しにくい
社内報告用スライド・動画の作成	Manus Studio、または Claude Slides／ChatGPT Pages	編集可能な部品として出力できる点は Manus が一歩先行。機密度が低い資料に限る
定期ウォッチ（新規公開公報、論文、競合ニュース）	Manus Automations、OpenAI Dots、Gemini Spark	いずれも常時稼働型。外部サービスに検索式や関心技術を渡してよいか（それ自体が秘密情報になり得る）を、社内規程上で先に判断する
自社開発・ツール作成	Claude Code、Codex、Antigravity	コーディング特化で、ベンチマークとエコシステムが厚い

5.1　実務上の推奨

1. Manus を導入する場合は、Team プラン以上（学習不使用の明記、SSO）に限定し[48]、利用対象を「公開情報のみ」と規程で定める。
2. Flex を使えば、自社が契約済みのモデル提供者（例：OpenRouter 経由）に推論を寄せられる[11]。ただし、Manus 側のインフラ（実行環境、ファイル保管）は残る点に注意が必要である。
3. 規制・資本関係（所有構造が未公表、中国市場向け事業の準備）は今後も変わり得る。データのエクスポート手順を確保し、代替ツールへすぐ移れる状態を保つ。

6. 留保事項・検証状況

- **一次ソースを取得して確認：**Manus 公式ブログ「Introducing Manus 2.0」（9 月 28 日）[1]と「Introducing Manus Flex」（9 月 29 日）[11]。Manus の「A Note to Our Users」（8 月 11 日）[28]と独立運営再開の告知（9 月 1 日）[9]は、検索結果の抜粋で内容を確認した。
- **二次ソースで確認：**買収と撤回の経緯（TechCrunch、AFP、SCMP、通信社配信記事）、中国チームの組織（Bloomberg、Global Times）、料金（複数の集計サイトで一致。公式料金ページは未取得）、競合各社の製品・モデル情報（OpenAI のヘルプ・変更履歴、Anthropic のリリースノート、Google 公式ブログ、主要テックメディア）。
- **未検証：**2.0 の基盤モデル、2025 年 12 月の Claude／Qwen 表明の原文、Trust Center の詳細、所有構造の最終形、Cue の決済・電話機能の実運用での安全性。「GPT-6.1 Astra が欺瞞的挙動のため見送られた」との報道[77]は二次情報であり、OpenAI の一次発表では確認していない。
- **性能主張：**Manus の 23.2%／28.2%／32%と、競合各社のベンチマーク値は、いずれも開発元の自己申告が中心である。条件が異なるため、横並びで比較することはできない。
- **URL 未取得の文献：**参考文献のうち【URL 未取得】と付したものは、調査過程で参照したが URL を特定・再確認できていない。引用・転載の際は原典の確認を推奨する。

参考文献

URL の参照日はいずれも 2026 年 10 月 6〜7 日。確認区分は冒頭「本書の表記について」を参照。

[1] Manus「Introducing Manus 2.0」公式ブログ、2026 年 9 月 28 日. https://manus.im/blog/introducing-manus-2-0 【本文確認】

[2] Implicator.ai「Manus Launches Cue Agents With Phone Numbers and Wallets」2026 年 9 月 28 日. https://www.implicator.ai/manus-cue-agents-phone-numbers-wallets/ 【本文確認】

[3] SiliconANGLE「OpenAI launches Dots, always-on AI agents in ChatGPT with their own cloud computers」2026 年 9 月 29 日. https://siliconangle.com/2026/09/29/openai-launches-dots-always-on-ai-agents-in-chatgpt-with-their-own-cloud-computers/ 【検索結果で確認】

[4] Build Fast with AI「Google I/O 2026: Gemini 3.5 Flash, Spark & Agentic AI」2026 年 5 月. https://www.buildfastwithai.com/blogs/google-io-2026-gemini-3-5-flash-announcements 【検索結果で確認】

[5] AIReiter「Claude Cowork Is Now Claude: Docs, Slides, Design Explained」2026 年 9 月. https://aireiter.com/blog/claude-cowork-is-now-claude-docs-slides-design 【検索結果で確認】

[6] 窓の杜「汎用 AI エージェント「Manus 2.0」が発表 〜デスクトップアプリは「Manus Studio」へ」2026 年 9 月 29 日. https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2144171.html 【検索結果で確認】

[7] TechCrunch「China blocks Meta's $2B Manus deal after months-long probe」2026 年 4 月 27 日. https://techcrunch.com/2026/04/27/china-vetoes-metas-2b-manus-deal-after-months-long-probe/ 【検索結果で確認】

[8] South China Morning Post「Manus resumes solo operations after collapse of US$2 billion Meta deal」2026 年 9 月 1 日. https://www.scmp.com/tech/big-tech/article/3365986/manus-resumes-solo-operations-after-collapse-us2-billion-meta-deal 【検索結果で確認】

[9] Manus「Manus nimmt unabhängigen Betrieb wieder auf」（独立運営再開の告知・ドイツ語版）公式ブログ、2026 年 9 月 1 日. https://manus.im/de/blog/manus-resumes-independent-operations 【検索結果で確認】

[10] The Decoder「Chinese AI agent Manus uses Claude Sonnet and open-source technology」2025 年 3 月.

https://the-decoder.com/chinese-ai-agent-manus-uses-claude-sonnet-and-open-source-technology/ 【検索結果で確認】

[11] Manus「Introducing Manus Flex: Use your own API key in the Manus workspace」公式ブログ、2026 年 9 月 29 日. https://manus.im/blog/introducing-manus-flex 【本文確認】

[12] 9to5Mac「OpenAI upgrading ChatGPT and Codex with two more GPT-6 models」2026 年 9 月 22 日. https://9to5mac.com/2026/09/22/openai-upgrading-chatgpt-and-codex-with-two-more-gpt-6-models/ 【検索結果で確認】

[13] Codersera「Claude Fable 5.1: Benchmarks, Pricing & What Changed (2026)」. https://codersera.com/blog/claude-fable-5-1-complete-guide-2026/ 【検索結果で確認】

[14] Google 公式ブログ「Gemini 3.5: frontier intelligence with action」2026 年 5 月. https://blog.google/innovation-and-ai/models-and-research/gemini-models/gemini-3-5/ 【検索結果で確認】

[15] The Next Web「Manus 2.0 and Cue give AI agents their own email, phone and wallet」2026 年 9 月. https://thenextweb.com/news/manus-2-0-cue-ai-agents-email-phone-wallet 【本文確認】

[16] Impress Watch「AI エージェント「Manus 2.0」登場 新アプリ「Cue」も」2026 年 9 月 29 日. https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2144252.html 【検索結果で確認】

[17] Bloomberg「中国発 AI 新興マナス、AI エージェント品ぞろえ拡充－「Manus 2.0」投入」2026 年 9 月 29 日. https://www.bloomberg.com/jp/news/articles/2026-09-29/TM3KJ7KK3NY900 【検索結果で確認】

[18] Bloomberg「Manus Expands AI Tools in Renewed Push Into Agent Market」（Yahoo Finance UK 転載）2026 年 9 月. https://uk.finance.yahoo.com/news/manus-expands-ai-tools-renewed-175746537.html 【検索結果で確認】

[19] Wikipedia「Manus (AI agent)」（英語版）. https://en.wikipedia.org/wiki/Manus_(AI_agent) 【検索結果で確認】

[20] TechNews 科技新報（台湾）、Meta による Manus 買収発表を報じる記事（WSJ 報道を引用）、2025 年 12 月 30 日. https://finance.technews.tw/2025/12/30/meta-to-acquire-chinese-startup-manus/ 【検索結果で確認】

[21] Yahoo Finance「META Platforms' (META) Manus Acquisition Another Step in the Right Direction」. https://finance.yahoo.com/news/meta-platforms-meta-manus-acquisition-115024350.html 【検索結果で確認】

[22] BusinessDay（通信社配信）「China orders Meta to unwind Manus AI takeover in tech clampdown」2026 年 4 月 27 日. https://www.businessday.co.za/world/international-companies/2026-04-27-china-orders-meta-to-unwind-manus-ai-takeover-in-tech-clampdown/ 【検索結果で確認】

[23] AI CERTs News、中国当局が本件取引を最初に問題視した時期（2026 年 1 月 8 日）に関する記事. 【URL 未取得】

[24] TechNews 科技新報（台湾）、中国当局による Meta・Manus 取引の審査と創業者の出国禁止を報じる記事（New York Times 報道を引用）、2026 年 3 月 25 日. https://finance.technews.tw/2026/03/25/china-reviews-2bn-manus-sale-to-meta-as-founders-barred-from-leaving-country/ 【検索結果で確認】

[25] Shumaker, Loop & Kendrick（法律事務所）、本件と中国の外商投資安全審査（FISR）に関する解説. 【URL 未取得】

[26] Dealroom「Manus targets $4B valuation in $500M round after Meta split」2026 年 9 月. https://dealroom.co/news/151507-manus-targets-4b-valuation-in-500m-round-after-meta-split/ 【検索結果で確認】

[27] AI Weekly「Manus Seeks $4B Valuation in $500M Round After Meta Split」（Bloomberg 報道の紹介）2026 年 9 月. https://aiweekly.co/alerts/manus-seeks-4b-valuation-in-500m-round-after-meta-split 【検索結果で確認】

[28] Manus「A Note to Our Users」公式ブログ、2026 年 8 月 11 日. https://manus.im/blog/a-note-to-our-users 【検索結果で確認】

[29] SQ Magazine「Manus Will Delete User Data August 23 in Meta Split」2026 年 8 月.

https://sqmagazine.co.uk/manus-user-data-deletion-meta-split/ 【検索結果で確認】

[30] explainx「Manus Leaves Meta: Back Up Your Data Before Aug 23, 2026」2026 年 8 月. https://explainx.ai/blog/manus-meta-separation-data-deletion-backup-guide-august-2026 【検索結果で確認】

[31] Krater「Manus Data Deletion: What to Do Before the August 23 Deadline」2026 年 8 月. https://krater.ai/blog/manus-data-deletion-what-to-do 【検索結果で確認】

[32] MoClaw「Manus AI Data Deletion: Back Up Before Aug 23」2026 年 8 月. https://moclaw.ai/blog/manus-ai-data-deletion 【検索結果で確認】

[33] France 24（AFP）「AI startup Manus says resumes independent operations」2026 年 9 月 1 日. https://www.france24.com/en/live-news/20260901-ai-startup-manus-says-resumes-independent-operations 【検索結果で確認】

[34] Tech Startups、Manus の独立運営再開を報じる記事（2026 年 9 月）. 【URL 未取得】

[35] AI Funding Tracker、Financial Times 報道を引用した Manus の株主構成に関する記事（2026 年 9 月）. 【URL 未取得】

[36] DigitalToday「Manus in talks to raise $500 million after Meta merger deal falls through」（TechCrunch 2026 年 9 月 18 日報道の紹介）. https://www.digitaltoday.co.kr/en/view/105667/manus-in-talks-to-raise-500-million-after-meta-merger-deal-falls-through 【検索結果で確認】

[37] Manus Help Center「What are the differences between Chat mode and Agent mode?」. https://help.manus.im/en/articles/11711128-what-are-the-differences-between-chat-mode-and-agent-mode 【検索結果で確認】

[38] Global Times「Manus builds China team, pushes for domestic comeback after Meta acquisition unwound」2026 年 9 月 29 日. https://www.globaltimes.cn/page/202609/1371552.shtml 【本文確認】

[39] explainx「Manus 2.0 Launch: Studio, Cue & Automations (2026)」2026 年 9 月. https://explainx.ai/blog/manus-2-0-studio-cue-cascade-cloud-computer-2026 【検索結果で確認】

[40] 第一財経、Manus 2.0 の発表を報じる記事（2026 年 9 月）. 【URL 未取得】

[41] Helicone「What is Manus AI? Benchmarks & How it Compares to Operator and Computer Use」2025 年. https://www.helicone.ai/blog/manus-benchmark-operator-comparison 【検索結果で確認】

[42] 国連大学 Campus Computing Centre「Manus: Leading the Charge in Autonomous AI」2025 年. https://c3.unu.edu/blog/manus-leading-the-charge-in-autonomous-ai 【検索結果で確認】

[43] Layer3 Labs「Manus AI Pricing 2026: Plans, Credits & Cost Breakdown」. https://www.layer3labs.io/guides/manus-ai-pricing 【検索結果で確認】

[44] Fello AI「Manus AI Pricing 2026: Free, Pro & Team Plans Explained」. https://felloai.com/manus-ai-pricing/ 【検索結果で確認】

[45] CellCog「Manus 2.0 and Cue: What Manus Launched on Sept 28」2026 年 9 月. https://cellcog.ai/blog/manus-2-0/ 【検索結果で確認】

[46] TechGym「Manus 2.0 とは？新機能まとめ｜Cascade・Manus Studio・自動化・Cloud Computer・Cue を解説」2026 年 9 月. https://techgym.jp/column/manus-2-0/ 【検索結果で確認】

[47] 投資界（pedaily）「Manus 回来了，可 Agent 的战场已经挤满对手」2026 年 9 月. https://news.pedaily.cn/202609/569798.shtml 【検索結果で確認】

[48] Manus「Team Plan」. https://manus.im/team 【検索結果で確認】

[49] 小西秀和「OpenAI GPT Model Release Timeline - Model Lineage, ChatGPT and Codex Milestones, and Platform Availability」. https://hidekazu-konishi.com/entry/openai_gpt_model_release_timeline.html 【検索結果で確認】

[50] OpenAI「ChatGPT & Codex changelog」. https://learn.chatgpt.com/docs/changelog 【検索結果で確認】

[51] Business Standard「OpenAI DevDay 2026: Dots agent, GPT-6.1 Sol, new plans and more announced」2026 年 9 月. https://www.business-standard.com/amp/technology/tech-news/openai-devday-2026-dots-gpt-6-1-sol-codex-developer-tools-126093000396_1.html 【検索結果で確認】

[52] TechCrunch「OpenAI launches Dots, its bubbly agentic avatar」2026 年 9 月 29 日. https://techcrunch.com/2026/09/29/openai-launches-dots-its-bubbly-agentic-avatar/ 【検索結果で確認】

[53] AI Weekly「OpenAI launches Dots, always-on ChatGPT agents at DevDay」2026 年 9 月. https://aiweekly.co/alerts/openai-launches-dots-always-on-chatgpt-agents-at-devday 【検索結果で確認】

[54] Dapta「OpenAI Dots: Always-On AI Agents Arrive in ChatGPT」2026 年 9 月. https://dapta.ai/blog-posts/ai-news-openai-dots/ 【検索結果で確認】

[55] Reworked「The Biggest Announcements From OpenAI DevDay: Dots, Agents and a $500 Plan」2026 年 9 月. https://www.reworked.co/ai-news/the-biggest-announcements-from-openai-devday-dots-agents-new-500-plan/ 【検索結果で確認】

[56] OpenAI Help Center「ChatGPT — Release Notes」. https://help.openai.com/en/articles/6825453-chatgpt-release-notes 【検索結果で確認】

[57] ComputingForGeeks「Claude Fable 5.1: Benchmarks and Pricing」2026 年 9 月. https://computingforgeeks.com/claude-fable-5-1-released-features-benchmarks/ 【検索結果で確認】

[58] claudefa.st「Claude Fable 5.1 & Mythos 5.1: Benchmarks, Pricing, Changes」. https://claudefa.st/blog/models/claude-fable-5-1 【検索結果で確認】

[59] Anthropic（Claude Help Center）「Release notes」. https://support.claude.com/en/articles/12138966-release-notes 【検索結果で確認】

[60] Cat Wu（Anthropic）の X 投稿「Claude Opus 5.5 is now the default model in Claude Code and the Claude app…」2026 年 9 月. https://x.com/_catwu/status/2102437713781944397 【検索結果で確認】

[61] Shattered「Claude 5.5 Family: 2 Models in 6 Days, Haiku Next」2026 年 9 月. https://shattered.io/claude-5-5-family-2-models-6-days-haiku-next-2026 【検索結果で確認】

[62] InfoQ「Claude Cowork」に関する記事、2026 年 1 月. https://www.infoq.com/news/2026/01/claude-cowork 【検索結果で確認】

[63] ClaudeCowork.com「Drop #27: Cowork Is Now Just Claude」2026 年 9 月. https://www.claudecowork.com/drops/drop-27/ 【検索結果で確認】

[64] CNBC「Google unveils AI model Gemini 3.5 and AI agent Gemini Spark」2026 年 5 月 19 日. https://www.cnbc.com/2026/05/19/google-ai-ultra-gemini-spark-omni.html 【検索結果で確認】

[65] Google Cloud ドキュメント「Gemini 3.5 Flash」. https://docs.cloud.google.com/gemini-enterprise-agent-platform/models/gemini/3-5-flash 【検索結果で確認】

[66] GeoToolbox「Gemini 3.5 Pro: Release Date, Specs & What's Confirmed (2026)」2026 年 9 月. https://geotoolbox.ai/blog/gemini-3-5-pro 【検索結果で確認】

[67] SemiAnalysis、Gemini 3.5 Pro の開発中止に関する報道（2026 年 9 月）. 【URL 未取得】

[68] DataCamp「Google I/O 2026: The Start of the Agentic Gemini Era」2026 年 5 月. https://www.datacamp.com/blog/google-i-o-2026 【検索結果で確認】

[69] 新浪科技「Manus 2.0 独立回归，直面大厂 Agent 竞争」2026 年 9 月 29 日. https://finance.sina.com.cn/tech/roll/2026-09-29/doc-initnsei2924132.shtml 【検索結果で確認】

[70] FourWeekMBA「Manus 2.0 Gives Each Agent an Identity Layer」2026 年 9 月. https://fourweekmba.com/ai-manus-2-agent-identity-layer-cascade/ 【検索結果で確認】

[71] AIPostHub「Manus 2.0 是什麼？Cue 個人 AI Agent、Studio、Cascade 功能與風險一次看懂」2026 年 9 月. https://www.aiposthub.com/manus-2-cue-personal-ai-agent-studio-cascade/ 【検索結果で確認】

[72] remio「Manus 2.0 AI Agents Expand the Product, but Trust Is the Real Test」2026 年 9 月. https://remio.ai/post/manus-2-0-ai-agents-expand-the-product-but-trust-is-the-real-test 【検索結果で確認】

[73] GIGAZINE、Manus 2.0 の発表を報じる記事（2026 年 9 月）. 【URL 未取得】

[74] Carly「Manus AI Review (2026): Strengths, Failures & the Meta Split」. https://www.usecarly.com/blog/manus-ai-review/ 【検索結果で確認】

[75] Trustpilot「manus.im」レビューページ（評価値は参照時点のもので変動し得る）. 【URL 未取得】

[76] Reddit 上のユーザー投稿（Meta との分離後の品質に関するもの）. 【URL 未取得】

[77] AI Weekly「OpenAI unveils Dots, always-on ChatGPT agents at DevDay」2026 年 9 月.
https://aiweekly.co/alerts/openai-unveils-dots-always-on-chatgpt-agents-at-devday 【検索結果で確認】